

平成 28 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅢ・教授
氏名 Name	高橋 明
専門分野 Academic Field	ヒンディー語学・文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	マラーティー語語彙の研究 (マラーティー語=日本語辞書編纂)
<p>マラーティー語語彙の研究の成果の応用として、マラーティー語=日本語辞典の編纂作業に継続して取り組んだ。平成 28 年度の成果として、収録語彙数は約 50,000 語を越えている。いずれも、実際の文献から採録したものであり、必要に応じて例文も記録している。同時に、慣用語表現や諺なども収集している。現代マラーティー語への英語からの借用語は、奔流のように流れ込んでおり、テーマによってはほとんどの語彙が英語からの借用語になっている事例は、ごく普通のこととなっている。現在の所、やや抑制的に収集しているが、それでもすでに 10,000 語ほどになっている。これらの英語借用語の選択については、マラーティー語公立学校の 12 年生までの教科書を主たる採録資料とするほか、新聞・雑誌に頻出するかどうかを選定の一応の基準としている。</p> <p>現代マラーティー語資料を、語彙採録の主たる文献としているが、時代については 19 世紀初頭の散文まで遡って語彙収集資料としている。今後の課題としては、時代をさらに遡って語彙の収集範囲を広げること考えている。</p> <p>一応の組版を TeX によって作成しているが、B5 版サイズの 2 段組で約 1,000 ページを越えたところである。すべての語について、発音を入力していることも一つの成果である。マラーティー語はたとえばヒンディー語とは異なり、表記と発音との間におおきなずれがあり、発音表記がなければ辞書としては外国人には使用することが難しいと思われるためである。</p>	